

総務文教常任委員会資料

令和6年1月9日

教育委員会事務局 こども未来部

小中一貫教育推進室

目 次

小中一貫校について

1 社地域小中一貫校について P 1

- (1) 社地域小中一貫校建設工事の進捗状況について
- (2) 社中学校校舎長寿命化改修工事について
- (3) 社地域小中一貫校の徒歩通学路について

2 滝野地域小中一貫校について P 10

- (1) 滝野地域小中一貫校の通学の基本方針及び通学方法について

1 社地域小中一貫校について

(1) 社地域小中一貫校建設工事の進捗状況について

「社地域小中一貫校建設工事」は着工から1年半を経過し、工事も終盤に入ってきました。12月末時点の工事出来高は、68%です。

体育館棟は12月末に工事完了いたしました。3学期から、社中学校の授業や部活動で、利用を開始しています。

増築校舎棟や交流棟も、内装工事を順次進めており、床材や壁材、内部建具の取り付け等を進めています。令和6年3月末には、増築校舎棟・交流棟ともに工事完了する予定です。

プール棟も、基礎工事が完了し、プールサイドの工事に入っています。また、プール棟横の部室棟の基礎工事にも着手しました。



現場南東側からの工事状況（令和5年12月26日撮影）



屋内運動場棟 北東側外観（令和5年12月26日撮影）



屋内運動場棟 小体育館内観（令和5年12月13日撮影）



屋内運動場棟 大体育館内観（令和5年12月26日撮影）



全景 北側上空から撮影（令和5年12月26日撮影）

(2) 社中学校校舎長寿命化改修工事について

社地域小中一貫校整備事業の最終工事として、現社中学校校舎の長寿命化改修工事を行います。令和6年7月頃着手の予定です。

実施設計完了時（令和4年3月）から、入札公告時（令和6年4月）までに、2年経過しています。近年の物価上昇も鑑み、設計単価の入れ替え及び改修内容の精査を行いました。単価入れ替え及び内容精査により、工事内容と工事金額に変更が生じています。

No.	変更内容	変更金額
①	エアコン更新工事 追加	1億3,000万円
②	照明LED化更新工事 追加	1億3,000万円
③	校舎内部改修工事 追加	1億7,000万円
④	単価入れ替えによる増額（物価上昇による）	1億4,000万円
	合 計	5億7,000万円

①エアコン更新工事の追加

社中学校校舎棟のエアコンは、平成23年度に設置し、令和5年度時点で13年が経過します。国庫補助事業で設置しており、処分制限期間は15年と設定されているため、設置から15年が経過する令和9年度以降に更新する計画としていました。

しかし、昨年度からエアコンの調子が悪くなることが頻発しており、早めの更新をしたほうがよいと判断しました。なお、処分制限期間内の撤去であっても、事業完了後10年が経過していれば、国庫への補助金返納はありません。

②照明LED化更新工事の追加

社中学校校舎棟の照明は、LEDに更新されていません。また、廊下の照明が少なく、日中の学校生活に支障はありませんが、夜間利用時や教職員帰宅時に困ることがあります。

空調更新時、天井を外す必要があることから、空調工事と並行して実施したほうが良いと判断し、当初の長寿命化改修工事では実施しない予定でしたが、空調更新工事を前倒しするため、併せてLED化更新工事も実施します。



③校舎内部改修工事の追加

社中学校校舎内の、床の張替え、壁の塗り替え、建具の改修(一部更新)を行います。

現在の社中学校校舎で問題なく学生生活を送ることはできますが、前回の大規模改修(平成17～19年)から、15年以上が経過しています。特に、床・壁・内部建具に老朽が目立つ箇所があり、10年以内に内部の大規模改修が必要になると見込まれます。

前回の大規模改修から20年を経過していませんが、新校舎との機能面、美観面での差異をなるべく減らすことや、一括発注によるコスト縮減及び学校生活への負担軽減を図るため、今回工事に追加します。



④単価入れ替えによる増額（物価上昇による）

社中学校校舎長寿命化改修工事の設計は、令和3年度に完了していましたが、この度、入札公告を行うにあたり、改めて最新単価の入れ替えを行いました。

特に直近2年は物価上昇が著しく、単価入れ替えの結果、当初の設計金額より約25%の増となっています。工事別では、建築工事が7~10%増、機械設備工事が20~30%増、電気工事が30~40%増、エレベーター工事が20%増と、特に設備機器や電気工事の増加が著しいです。

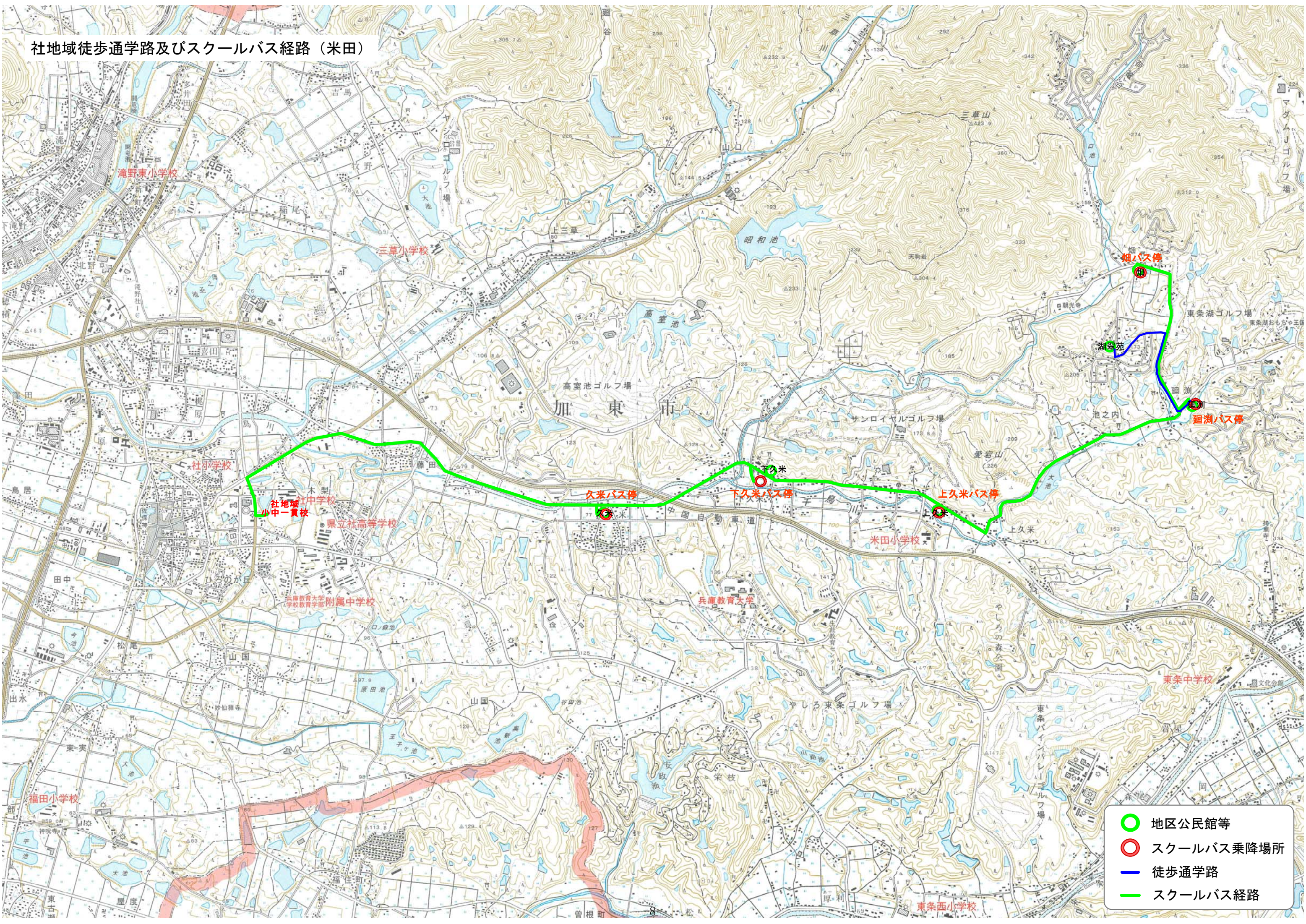
1. 都市別・部門別指数 Index by cities





年月 Year Month	部門 都市 City	建設総合 Construction					
		全国平均 Japan average	東京 Tokyo	大阪 Osaka	名古屋 Nagoya	福岡 Fukuoka	那覇 Naha
2017年	平均	100.7	100.3	102.6	100.4	99.8	101.2
2018年	平均	102.7	102.4	105.0	102.2	102.6	103.5
2019年	平均	104.2	103.8	107.1	103.5	105.1	104.7
2020年	平均	104.5	104.0	108.2	103.6	105.3	105.1
2021年	平均	110.6	110.3	114.9	110.0	111.4	110.2
2022年	平均	124.6	124.7	128.4	124.4	125.2	123.4
2022年	10月	128.9	129.5	131.8	128.0	129.6	128.2
	11月	130.0	130.6	132.5	130.4	130.5	129.7
	12月	131.3	131.8	133.8	131.9	131.6	131.0
2023年	1月	131.7	132.2	134.2	132.0	131.7	131.4
	2月	131.4	131.8	134.2	131.9	131.5	131.5
	3月	131.4	131.6	134.2	131.9	131.9	132.2
	4月	131.3	131.5	134.0	132.0	131.7	132.3
	5月	131.6	131.3	134.4	131.9	131.5	132.2
	6月	132.0	131.6	134.6	132.2	131.9	132.4
	7月	132.5	131.7	134.6	133.4	134.8	132.5
	8月	133.6	133.3	138.1	134.1	135.2	133.1
	9月	134.5	134.1	138.8	134.8	136.4	133.9
	10月	134.6	134.3	138.9	135.0	136.5	134.0

一般財団法人建設物価調査会HPより建設工事費指数を抜粋

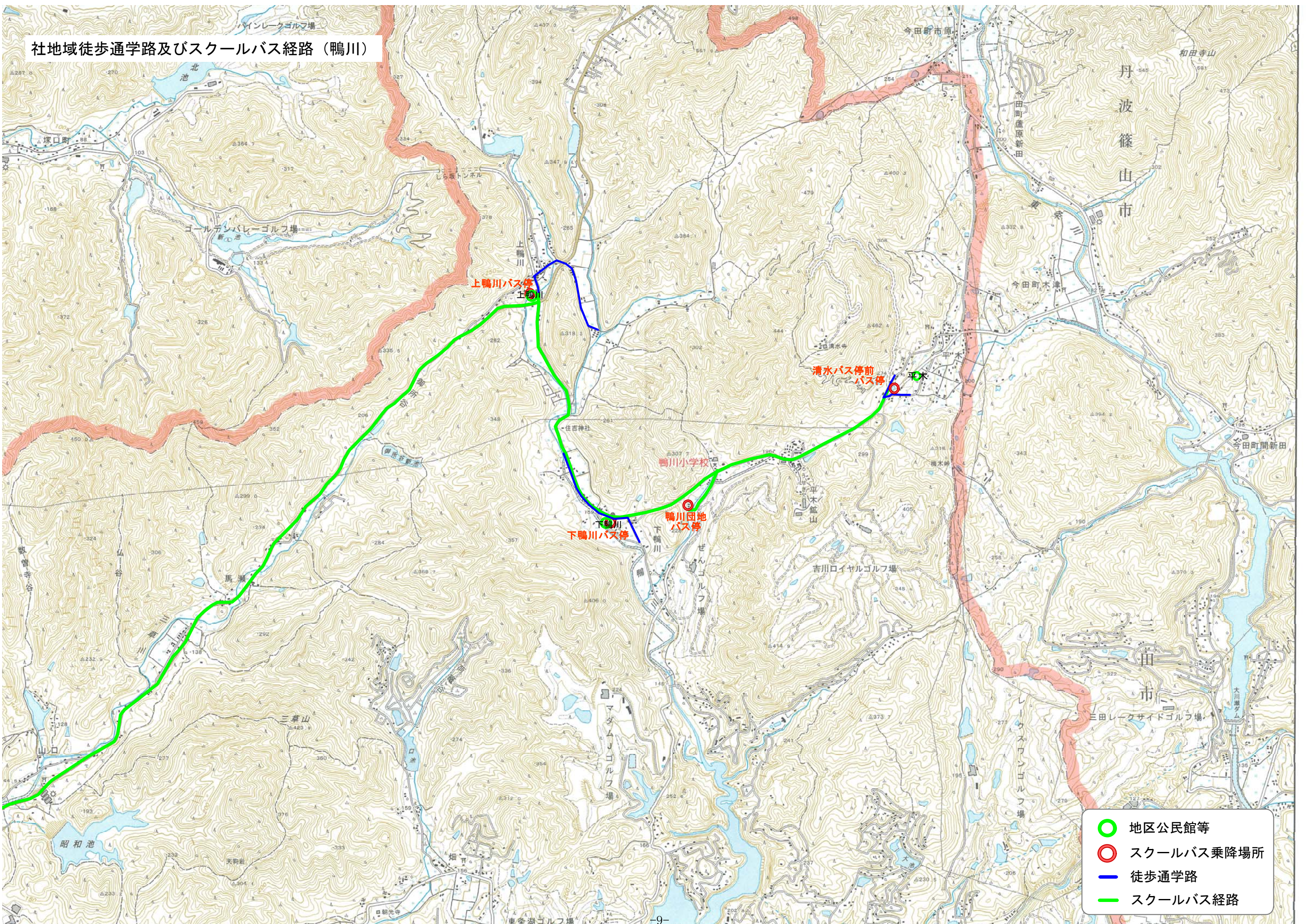
※建築費指数とは、2015年の建築費を100としたときに、対する各年度(月)の建築費の指数を表す

社地域徒歩通学路及びスクールバス経路（米田）



-  地区公民館等
-  スクールバス乗降場所
-  徒歩通学路
-  スクールバス経路

社地域徒歩通学路及びスクールバス経路（鴨川）



- 地区公民館等
- スクールバス乗降場所
- 徒歩通学路
- スクールバス経路

2 滝野地域小中一貫校について

(1) 滝野地域小中一貫校の通学の基本方針及び通学方法について

① 通学の基本方針について

- ・ 地域で子どもたちの顔が見えること
 - ・ 行程の安全・安心が図られること
 - ・ 地域の協力が得られること
- ※異学年の集団通学の教育的意義を考慮

② 通学方法について

小学生

- ・ 小中一貫校を中心に、半径2km未満に地区公民館がある地区の小学生は徒歩通学とし、2km以上はスクールバス利用を原則とする。
- ただし、半径2km未満に地区公民館がある地区の小学生であっても、自宅から小中一貫校までの距離が3kmを超える場合は、個別対応とする。

中学生

- ・ 現状どおり自転車通学を原則とする。

③ 通学方法と対象地区について

ア 対象地区について

- ・ 徒歩通学対象地区・・・上滝野、下滝野、新町、北野、穂積、河高
 - ・ スクールバス対象地区・・・光明寺、稲尾、曾我、多井田、高岡、桜台
 - ・ 個別対応が必要な児童がいる地区・・・河高
- ※徒歩通学対象地区の中で通学距離が3kmを超える児童がいる地区

イ スクールバス乗降場所について

- ・ 光明寺地区集落センター・・・光明寺
- ・ 稲尾地区集落センター・・・稲尾
- ・ 滝ノ上公園・・・曾我、多井田
- ・ 高岡コミュニティセンター・・・高岡、桜台

ウ 個別対応について

- 河高地区に該当住居あり
- ※開校前に、保護者・地区と調整

④ 通学路の選定スケジュールについて

- | | |
|---------|---------------------------|
| 令和5年度 | スクールバス乗降場所の決定 |
| 令和6年度 | 滝野地域小中一貫校までの通学路の選定・決定 |
| 令和7年度 | 新通学路の危険箇所点検と通学路安全プログラムの実施 |
| 令和8～9年度 | 通学路安全プログラムに基づく整備 |
| 令和10年度 | 開校 |

滝野地域スクールバス（検討案）



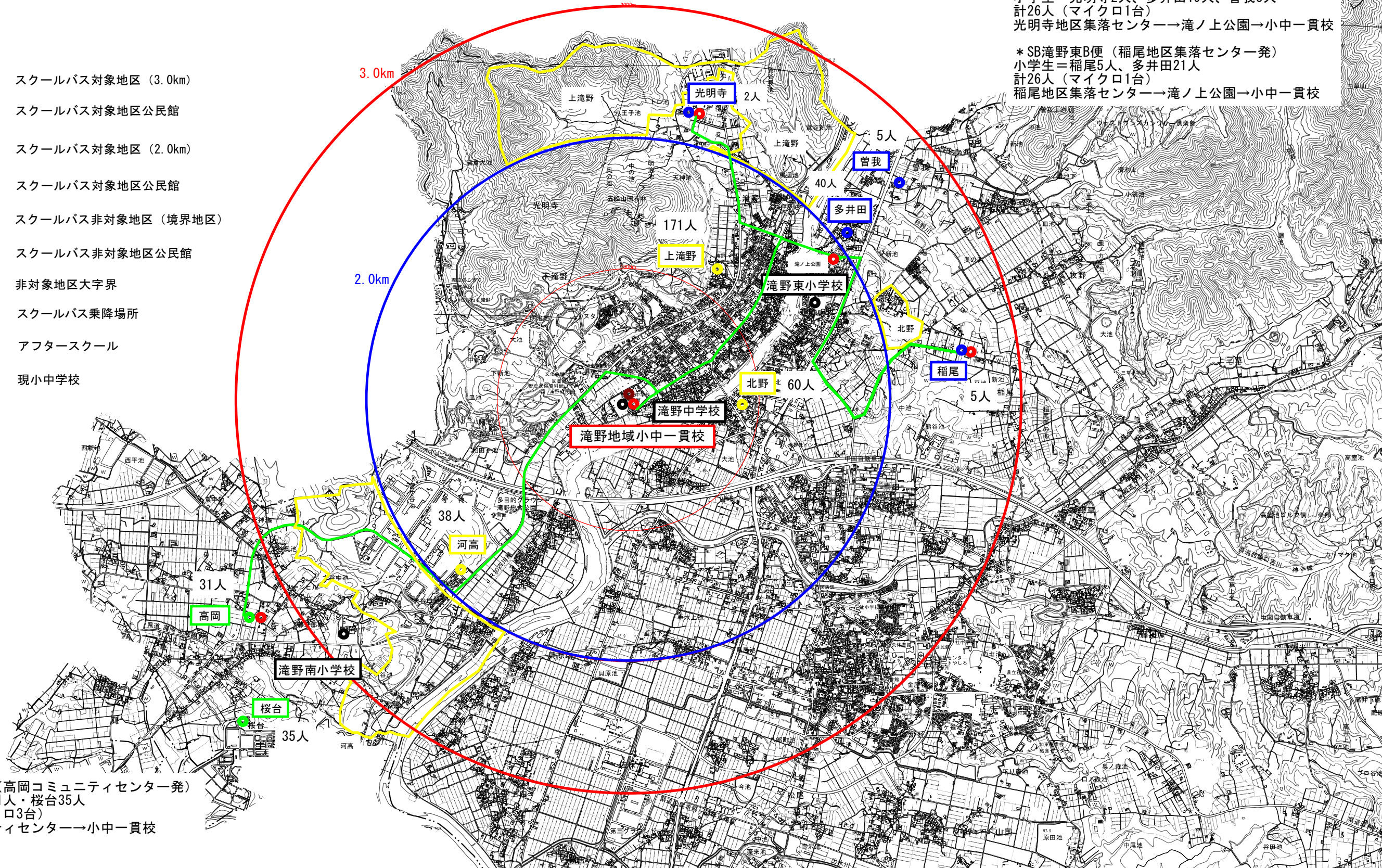
マイクロバス乗車定員27人（児童26人乗 うち固定席22人）
 総計5台

凡例

- スクールバス対象地区（3.0km）
- スクールバス対象地区公民館
- スクールバス対象地区（2.0km）
- スクールバス対象地区公民館
- スクールバス非対象地区（境界地区）
- スクールバス非対象地区公民館
- 非対象地区大字界
- スクールバス乗降場所
- アフタースクール
- 現小中学校

* SB滝野東A便（光明寺地区集落センター発）
 小学生＝光明寺2人、多井田19人、曾我5人
 計26人（マイクロ1台）
 光明寺地区集落センター→滝ノ上公園→小中一貫校

* SB滝野東B便（稲尾地区集落センター発）
 小学生＝稲尾5人、多井田21人
 計26人（マイクロ1台）
 稲尾地区集落センター→滝ノ上公園→小中一貫校

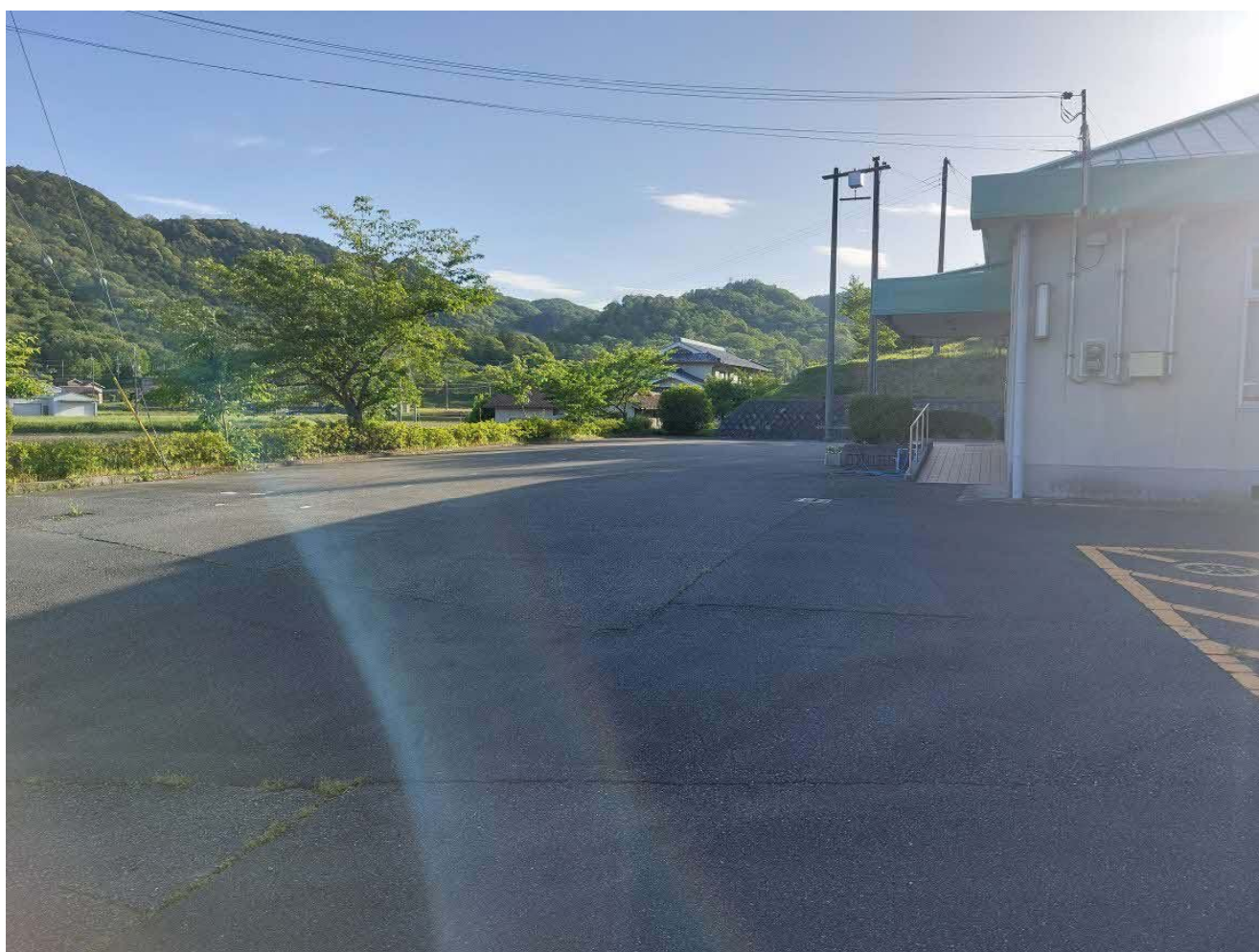


* SB滝野南便（高岡コミュニティセンター発）
 小学生＝高岡31人・桜台35人
 計66人（マイクロ3台）
 高岡コミュニティセンター→小中一貫校

1:30,000 (A3)

滝野地域小中一貫校 スクールバス乗降場所写真

光明寺地区 (2名)
スクールバス1台



稲尾地区 (5名)
スクールバス1台



曾我地区（5名）・多井田地区（40名）
スクールバス2台



高岡地区（31名）・桜台地区（35名）
スクールバス3台

